

平成30年1月22日 ふるさと知事ネットワーク第11回知事会合

ふるさと創生に向けた大学との連携



鳥取県知事 平井伸治

鳥取大学との産官学連携による百年の梨づくり

◆二十世紀梨は明治21年に千葉県松戸市で発見され、明治37年に鳥取県に導入。
は鳥取県に二十世紀梨が導入されて114年目を迎える。

◆今年

時 代

内 容

明治21年 松戸覚之助（千葉県）によって
二十世紀梨発見

明治37年 北脇永治によって、
二十世紀梨が鳥取市に導入



二十世紀梨の親木と北脇永治

大正時代～ 梨産業と鳥取大学農学部（前身：鳥取高農）が連携

大正8年～ 黒斑病が鳥取県で蔓延。被害が深刻化。パラフィン果実袋の導入

昭和時代～ 産官学連携による生産指導体制の構築、果実袋の改良

昭和12年 生産指導研究会（現：果樹生産指導協議会）が発足
現在も当年の栽培技術対応等を検討

昭和44年～ 袋掛け作業が時短可能な小袋を開発。その後、大袋も開発

昭和58年 鳥取県産二十世紀梨の栽培面積が3,800ヘクタールに到達



梨小袋

平成時代～ 食味の良い品種育成・導入

鳥大、県が品種候補育成 ⇒ 生産者の栽培試験
⇒ 鳥大、県が品種登録申請

◆鳥大「秋栄(あきばえ)」、

◆県「新甘泉(しんかんせん)」など



秋栄



新甘泉

大学と地域との連携

因幡の手づくりまつり

鳥取大学と地域の高等教育機関、商工関係団体等で構成するものづくり協力会議が取り組み、鳥取市のまちなかで開催。

学校では体験できない「ものづくり」を体験し、“考える力”を育む。

学生もボランティアスタッフとして携わり、参加者数は1,500人。



因幡の手づくりまつり(H29. 6)

ファブラボとっとり

3Dプリンターやレーザー加工機など最新のデジタル工作機器類を備えたものづくり工房。

鳥取大学などの支援により設置され、鳥取・倉吉・米子のまちなかで活動。

子どもから大人まで、自由な創作の場として利用。



ファブラボとっとり



3Dプリンター

鳥取城北高等学校「ファ部」

地域の鮮魚店の倉庫を無償提供してもらい、3Dプリンターなどを使い、ものづくり活動に取り組む。
地域の住民とも交流。



産学官連携によるとっとり発バイオイノベーションの創出

鳥取大学

- ・押村光雄教授(現在名誉教授)が世界最先端の染色体工学技術(人工染色体技術)を平成16年に確立。

【主な競争的資金】

平成16～21年 文科省:21世紀COEプログラム

平成21～25年 JST:戦略的創造研究推進事業

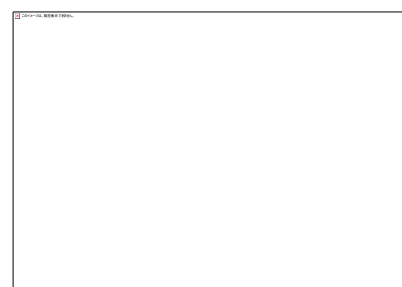
平成25～29年 文科省:地域イノベーション戦略支援プログラム



産学官連携

鳥取県

- ・鳥取県経済成長戦略の策定(平成22年)
- ・バイオ産業集積に向け、「とっとりバイオフロンティア」を開所(平成23年4月)



とっとり創薬実証センター

創薬に関する事業化プロセスの加速化を図る研究開発実証拠点を整備
(平成30年4月開所予定)



- ・文部科学省「地域科学技術実証拠点整備事業」(H28補正)に鳥取県・鳥取大学で共同提案
⇒中四国地方で唯一採択。

- ・とっとりバイオフロンティア・鳥取大学で生まれた医薬品開発シーズの実証、国内大手製薬企業との共同創薬等を展開予定。



とっとりバイオフロンティア

バイオ産業の創出・集積の中核を担う産学官連携拠点施設を整備



- ・鳥取大学発の染色体工学技術をイノベーションコアとした産学官共同研究拠点
- ・鳥取大学発ベンチャー、県外のバイオ関連企業、鳥取大学染色体工学研究センター等が入居し、様々なシーズを研究開発。

- ・光るヒト肝細胞モデル細胞(薬物代謝評価に活用)
- ・遺伝的希少疾患モデル動物の作製(ダウン症等の治療薬の開発に活用)
- ・完全ヒト抗体産生動物(ラット)の作製(抗体医薬品の開発に活用)



次世代バイオ産業の発展と雇用創出

応用研究・事業化の推進、バイオベンチャー・バイオ創薬の創出、高度な研究指向型技術者の育成・確保、バイオ関連企業の誘致

学生や教員が地方と都市を相互に対流・環流する仕組み

鳥取環境大学

地元大学のゼミ「チームK」
と伯耆町が交流

廃校活用した地域づくり
伯耆町や地元協議会と連携
協定を締結

➡ 廃校利用による地域づくり
方策を研究・提言

＝ 提 案 ＝

- ・ 軽トラ市の開催
- ・ 廃校舎ライトアップイベント

軽トラ市

協定締結

早稲田大学

学生サークル「つなぎや
AiTie」と江府町との交流

移動販売の現場を学習
学生サークルが本県の先進的
な移動販売を体験学習

➡ 高齢者対策を提案

＝ 地域体験 ＝

- ・ 買い物支援体験
- ・ 独居高齢者宅訪問
- ・ 町民と意見交換

移動販売

受入地域との交流

東京富士大学

大学の「企業ビジネス研究同好
会」と日野町との交流

日野町魅力化プロジェクト
学生が1週間滞在して、集
落や地域でフィールドワーク

➡ 地域おこし策を提案

＝ 提 案 ＝

- ・ ひまわり迷路づくり
- ・ 日野町サイクリングプラン
- ・ おしどり十金持神社の婚姻届

実現した「おしどり婚姻届」

実現した「ひまわり迷路」

明治大学と鳥取県の連携事業

明治大学・鳥取大学・鳥取県連携協定(平成21年3月19日)

明治大学の創立者の1人で、初代校長である岸本辰雄氏が鳥取出身であり、平成17年度から「鳥取県・明治大学連携講座」を実施した等の経緯を踏まえ、教育・研究等にかかる連携協定を締結。

教育分野

<メタンハイドレート関係>

明治大学鳥取メタンハイドレートコアセンター開設、海洋環境基礎調査を実施

地域連携分野

<学生派遣プログラム>

明治大学生が鳥取県でフィールドワークを行い、地域との交流、県内学生との共同活動を行う

『徒歩とバスのみ』で鳥取県(約100km)を横断！鳥取の人々と触れあい、魅力発見

参加学生1名が
県内企業就職

<鳥取大学との連携>

集中講義等において、明治大学、鳥取大学の教員を相互に派遣

<明大・鳥大・県連携講座> (とりとりめいじ参画カレッジ)

明大・鳥大・県の3者連携による公開講座、セミナー等を開催

その他

<明大博物館鳥取県特別展>

明治大学博物館で『鳥取の工芸文化特別展』開催

約2千人の来場者に、鳥取の伝統工芸(牛ノ戸焼等)をPR

<鳥取県のPR>

明治大学イベントでの物産販売による鳥取県のPR

明治大学と鳥取県の連携の強化、関係の醸成により、さらなる展開へ！

鳥取県未来人材育成基金

鳥取県は県内に就職される学生・卒業生の皆さんの
奨学金の返還を助成します！

全国初！

対象業種、人数、助
成額最大規模！

H29年度は業種を拡
大し180名募集

既に約160名が
就職し県内で活躍中！
(うち約110名が県外から)
H29年12月末現在

対象者

鳥取県内の企業に就職する予定の
高専、短大、大学、大学院、**既卒者(35歳未満)**の方。

対象となる
就職先(業種)

製造業・IT企業・薬剤師の職域・建設業・建設コンサルタント業
旅館・ホテル業
保育士・幼稚園教諭の職域

H29年度拡充！

対象奨学金

日本学生支援機構の奨学金(Ⅰ種、Ⅱ種)、鳥取県育英奨学金 他

助成金額

無利子の場合 貸与奨学金の総額×1/2
有利子の場合 貸与奨学金の総額×1/4

最大**216万円**の助成！！

○奨学金の返済はありがたい。鳥取の為に頑張ろうと思う！

学生・県外からの
転職者の声

県立ハローワークの設置

鳥取県立ハローワークを開設し、県の「産業施策」「雇用施策」「移住施策」と一体となった求職者と企業の一貫支援による効果的なマッチングを行い、地方創生と一億総活躍を実現。（平成29年7月開設）

鳥取県立ハローワーク

米子・境港・東京・関西に開設

米子

イオン米子駅前店 4階

女性活躍サポートセンター、若者・学生カフェ、ミドル・シニアコーナー、IJUサポートセンターでのきめ細やかな支援。企業の人材確保強化。

境港

境港市役所別館 1階

地域の雇用戦略拠点として主力産業の支援や増加する立地企業・観光産業の人材を確保。「出張！県立ハローワーク」開催。

東京・関西

鳥取県東京本部・鳥取県関西本部内

ふるさと鳥取県定住機構・県立米子・境港ハローワークとも連携して、鳥取県へのIJUターン就職を全面サポート「平日ナイター相談会」「移住休日相談会」「来楽暮カフェ」「学生向け就活・Uターンセミナー」等開催

7月の開設以降、各県立ハローワークの活動も徐々に軌道に乗ってきた
平成30年度は全国に先駆けて全県展開（新たに鳥取、八頭、倉吉地域への開設）

- ★専門スタッフによる充実サポート
- ★出張ハローワーク・出張相談会
- ★企業に出向いての独自求人開拓
- ★土曜日開所（県内）

★就職決定件数が着実に増加

7月：22件 ⇒ 11月：84件 延べ342人（うち正社員122人）

★相談件数も延べ9,387件

★県外ハローワークの連携によるIJUターン就職も決定
18件（11月末現在）